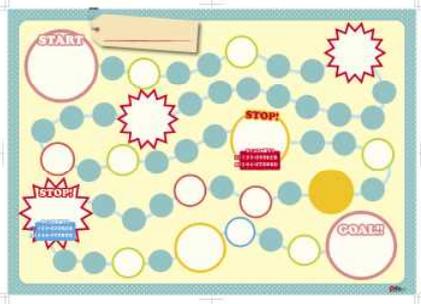


自作教具の活用事例

<p>【作品名】</p> <p>ゆう3みんなのすごろく！</p>	<p>【学校名】</p> <p>日立市立楡形小学校</p>
<p>【活用できる領域・教科等】</p> <p>コミュニケーション・生活学習ツール</p>	<p>【制作者名】</p> <p>椎名 真利絵</p>
<p>【制作の意図】</p> <p>相手と上手に接することが苦手な児童でも、自発的に楽しみながら友達と交流することができる。また、簡単な計算や言葉の学習にもつなげることができる。</p>	<p>【使用の方法】</p> <p>2～4人で行う。順番を決めてサイコロを振り、出た目の数だけマスにそってコマを動かす。止まった目の場所に指示が書かれているときにはチャレンジする。友達が困っているときには、ヒントや助言をして支援してもよしとする。</p>
<p>【制作上の工夫】</p> <p>すごろくの台紙の指示やコマは教師が考えたものではなく、例題や教師の助言をもとにクラスの児童が主体的に考えたものによって、より意欲的に取り組めるようにした。</p>	<p>【見取り図】</p> <p>すごろく台紙 (53×37.5cm)</p>  <p>サイコロ (4×4×4cm)</p> <p>コマ (3×14cm)</p>  
<p>【写真】</p> 	<p>【使用効果と応用発展】</p> <p>小集団のコミュニケーションツールとして活用できる。</p>
<p>【材料・材質・部品等】</p> <p>画用紙 プロッキー クーピー</p>	<p>かんたんな計算や言葉の学習などを自分で考えたり、解いたりすることができる。</p>